

# PRESS RELEASE

株式会社Eストアー



2019年5月10日

各 位

会 社 名 株式会社Eストアー  
代 表 者 代表取締役 石村 賢一  
コード番号 4304：東証 JASDAQ  
問い合わせ先 執行役員 経営管理本部長 森 淳  
T E L 03-3595-1106

## 通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2019年3月期通期連結業績予想（2018年11月8日発表）と実績値並びに、2019年3月期通期個別業績予想（2018年5月10日発表）と実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

### 1. 2019年3月期通期連結業績予想と実績値との差異（2018年4月1日～2019年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
前回発表予想（A） （2018年11月8日）	百万円 5,546	百万円 508	百万円 560	百万円 393
今回実績（B）	4,932	515	582	409
増減額（B－A）	△614	7	21	16
増減率（％）	△11.1	1.4	3.9	4.3

（注）2018年3月期は、連結決算を行っておりませんので、前期実績は記載しておりません。

### 2. 2019年3月期通期個別業績予想と実績値との差異（2018年4月1日～2019年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A） （2018年5月10日）	百万円 5,540	百万円 531	百万円 531	百万円 367
今回実績（B）	4,926	494	524	359
増減額（B－A）	△614	△37	△7	△8
増減率（％）	△11.1	△7.0	△1.4	△2.3
（ご参考）前期実績 （2018年3月期）	5,044	554	582	411

### 3. 修正の理由

当連結会計年度は、サービス事業の営業強化、新商品拡販、貿易事業を積極的に行ってきましたが、いずれも計画を下回る結果となりました。

サービス事業の営業強化は、顧客数よりも受注額の増大を目指し、個別単価はそれを実現しましたが、数量で計画以下となりました。新商品の拡販は、専用組織を組成して強化しましたが、計画を大幅に下回る受注となり、その原因は売り先のミスマッチと分析しています。貿易事業は、当社スタンスとして世界的なEC拡大は、越境ECよりも一般貿易が優位になると睨み、好調なスタートをきりましたが、中国向けに偏重した事から、年度内に急ブレーキがかかり大幅な計画未滿となりました。

以上により、売上高は、4,932百万円（11.1%減）となりました。営業利益以下は、2018年8月に子会社を設立したことに伴い、連結決算を開始し、また関連会社1社の持分法による投資利益を計上していること等もあり、微増となりました。

以 上